



安心とつるおの下の町川の手をめぐって

防災 まちづくり 豆版

発行：一寺言問を防災のまちにする会

1989. 3. 1.

募集



路地専の水で、畑しませんか？

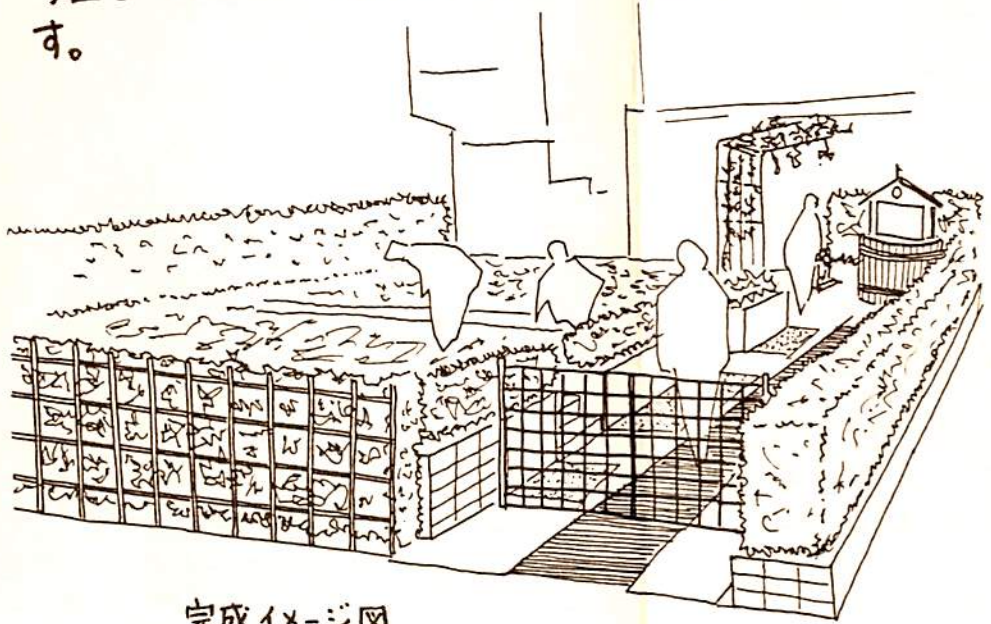
向島五丁目のまちづくり用地の利用者募集

官製は伏せて、一言会事務局まで申し込んで下さい。
3月31日消印有効。

利用対象：一寺言問地区住民
 利用期間：約一年間
 利用面積：一区画一坪程度(約15区画)
 利用内容：草花又は野菜の栽培
 約束ごと：用具は各自持ち寄ること
 すすんで清掃をすること
 利用者会議に出席すること

墨田区は、一言会と向島五東町会の提案を受けて、向島五丁目のまちづくり用地の整備計画をまとめました。それによると、路地専の地下に容量約10トンの貯水槽を入れ、そのうち5トンを初期消火用に常備しておく。周囲には、様々な樹種のモデル生垣をつくる。そして内部は、一寺言問住民に防災小緑地として利用してもらうなど。

名前は一言会と向島五東町会で検討の結果、向島有季園と呼ぶことになりました。四月オープンの予定です。



防災小緑地

向島有季園

四月オープン

ふだんから愛され、災害時にも役立つように、みんなで作る、育てる...

向島五丁目のまちづくり用地が、防災小緑地としていよいよオープン。そこで利用者を大募集。利用希望者は、官製はがきに、応募シールを貼り、住所、氏名、電話番号を記入の上、一言会事務局に申し込んで下さい。3月31日の消印有効。申し込まれた方には、オープン直前の前にご連絡いたします。



応募シール
 [切り取り、官製はがきに貼って下さい]

あて先：〒130 墨田区横綱1-6-1 墨田区都市整備部開発促進室内
 一言会事務局「向島有季園」係 tel (626)3151 (内654-655)

私がまちづくりスタッフです

その15

向島五丁目
(一言会・理事)
小倉利夫さん



かれこれ70年モーター専門のワイシャツを製造している(株)オクラの二代目。亡くなった天皇陛下のワイシャツを御調製申し上げたこともあるという。

向島五丁目東町会役員を歴任された父上のあとを引き継ぎ、昭和56年より防災部長に就任。

向島五丁目と路地専は切っても切れぬ縁の糸で結ばれていたのだが、その糸をたぐりよせて下さったのが小倉さん。町内を駆けめぐって今の場所を探して下さいました。

先日(1月24日)の火事にふれて、「不法駐車」の車が道路をふさいで、消防車がなかなか入ってこれなかった。そのため被害が大きくなってしまった。日常生活の小さなルールを守らないと、いざという時に大事になることを実感しました。」

紳士的で、いつも穏やかな小倉さんが、防災部長としてのくやしさをちょっとにじませて話して下さいました。(絶)

一寺言問 / 防災まちづくり瓦版

第17号 平成元年3月1日発行

編集 / 一言会・瓦版編集局

高原純子、若木英枝、木田佳男
木田文代、山本俊哉

発行 / 一言会・事務局

墨田区横綱1の6a1 墨田区都市
整備部開拓促進課内 (626)3151(633)

墨田区不燃化キャンペーン 1月20日 ミス墨田と瓦版を配布



一言会は、1月20日の夕方、東武曳舟駅前で、ミス墨田といっしょに「防災まちづくり瓦版」を配布し、広く防災まちづくりの必要性を呼びかけました。これは墨田区の不燃化事業キャンペーンに協力しておこなったものです。背中にはなまめ絵のはいた半纏を着ていたら、どういうわけか「うなぎ屋」とまちがえられる一幕もありましたが、瓦版は何屋さんかわかってくれたようです。



ゆきえん 有季園の由来

有季園とは、季節のある園という意味ですが、防災まちづくりに勇気を与えるという意味も込めてつけられました。そこで育てられる野菜は、路地専の天水を利用した有機農業の作物です。向島五丁目東町会とわいわい会、一言会事務局の検討会では、いろいろな名前があげられましたが、すすらん勉強会の阿部さんのアイデアに、防災小緑地と向島の冠がついて、決まった次第です。

旧墨堤之道 今秋 整備へ

墨田区から整備計画案提示



旧墨堤之道の整備に関する会議が1月17日に、沿道の人たちを集めて開かれました。一言会の理事からスライドを使って、ポラード(車止め)や路面の舗装方法に関する事例が紹介されたあと、区の担当者から整備計画図(案)が提示されました。今回はかなり細かい点まで踏みこんで議論がおこなわれました。その結果、
①車道の勾配を逆にすること ②植栽帯の土留の嵩上げはしないこと ③電柱を細くし、ポラード(車止め)の内側に設置すること ④土手の表面を化粧すること などを踏まえて、整備計画図(案)の検討を更にすすめることになりました。

地蔵坂通り

整備に向けて検討がはじまりました

二月一日に、東向島一丁目中町会、東一南町会、東向島宮元町会、地蔵坂通り商店会、一言会の呼びかけにより、「地蔵坂通りの将来に関するアンケート調査」(昨年十一月実施)の報告会が、沿道の人たちを対象に開かれました。参加者から、「地蔵坂通りが避難路として安全な道になるように整備をすすめてほしい」「沿道外の人から「沿道の人たちが中心になって整備を検討してほしい」などの意見が出されました。その結果、今回は区から整備計画案を出してもらい、それをたたき台に検討をすすめることになりました。

2月1日にアンケート調査報告会開催

